

EMS 機器及びドライブレコーダーの使用実態に関する アンケート調査結果(概要版)

(社)全日本トラック協会及び都道府県トラック協会では、エコドライブを計画的かつ継続的に実施し、その運行状況について客観的評価や指導を一体的に行うEMS(エコドライブ管理システム)及び事故や急加速・急減速などの一定の衝撃が生じた際にその前後の映像や走行データを記録するシステム(ドライブレコーダー)の普及を図るため、「EMS・ドライブレコーダー機器導入促進助成事業」を実施している。

今回、助成事業を利用して事業者を導入された機器等について、その使用実態や課題等を明らかにし、各機器メーカー等への要望事項および今後の助成事業のあり方について検討を行うため、助成事業を利用している事業者を対象としたアンケート調査を行った。

I. 調査の内容

1. 調査期間

・平成 21 年 8 月 1 日(金)～9 月 15 日(火)

※都道府県トラック協会を通じて対象事業者へ配布

2. 調査対象者

・EMS 機器またはドライブレコーダーを導入した会員事業者

3. 調査項目

- (1) 現在使用している機器の状況及び機能等の評価
- (2) 現在使用している機器への要望及び今後開発が期待される機能
- (3) 機器を搭載する車両及び事業者の基礎的情報

4. 回収状況

EMS 機器： 373 事業者

ドライブレコーダー： 229 事業者

II. 調査結果の概要

項目		EMS機器	ドライブレコーダー
該当事業者数		373 事業者	229 事業者
1 事業者あたり平均使用台数 ※1		47.6 台	31.4 台
平均使用年数 ※1		25.9 ヶ月	14.4 ヶ月
導入目的 ※2 (複数回答含む)	・燃費改善(省エネ運転指導)	97.1 %	50.2 %
	・運転日報の作成等事務の効率化	53.4 %	6.6 %
	・交通事故削減(事故防止指導)	79.9 %	96.5 %
	・荷主等からの要請	5.1 %	2.1 %
	・会社のイメージアップ	24.9 %	26.6 %
	・表彰制度への活用	16.6 %	10.0 %
	・事故発生時等の映像取得	-	86.9 %
使用実態	・十分活用している	83.4 %	79.5 %
	・一部機能のみ活用している	12.6 %	10.9 %
	・ほとんど活用していない	0.5 %	4.4 %
燃費改善効果	・十分に改善した	43.7 %	-
	・やや改善した	49.3 %	-
	・導入前と変わらない	4.3 %	-
	平均燃費改善率 ※1	7.9 %	6.2 %
事故防止 効果 ※2 (複数回答含む)	・事故が減った	-	41.0 %
	・運転マナーが向上した	-	72.9 %
	・導入前と変わらない	-	7.4 %
	平均事故減少率 ※1	44.4 %	52.4 %
課題		※次ページ以降参照	

※1:該当事業者数のうち、各項目に対して回答のあった事業所のみでの平均値。

※2:該当事業者数に対する回答事業者数の割合

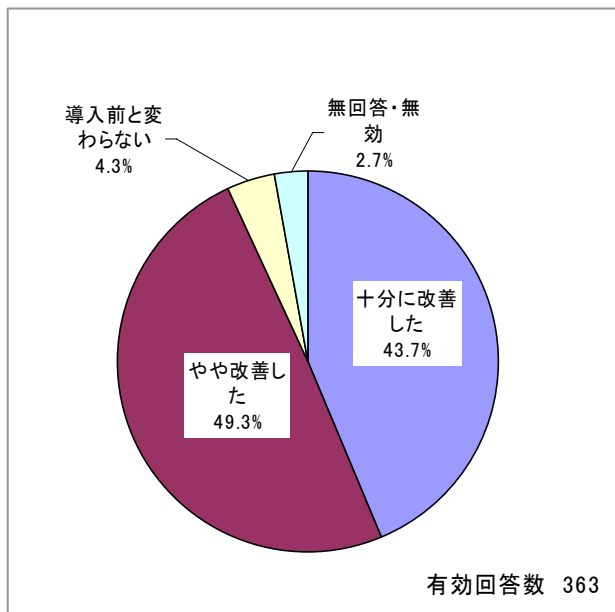
Ⅲ. 調査結果の抜粋

①使用効果について

<EMS 機器>

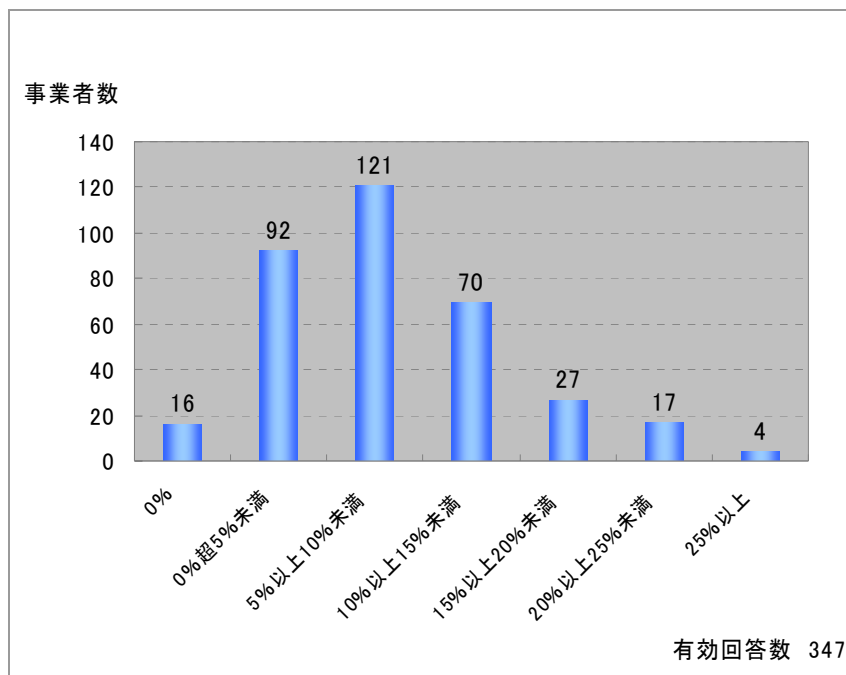
◆燃費改善効果

- ・「十分に改善した」(43.7%)、「やや改善した」(49.3%)を合わせると、93%となり、多くの事業者が燃費改善効果を感じていることがうかがえる

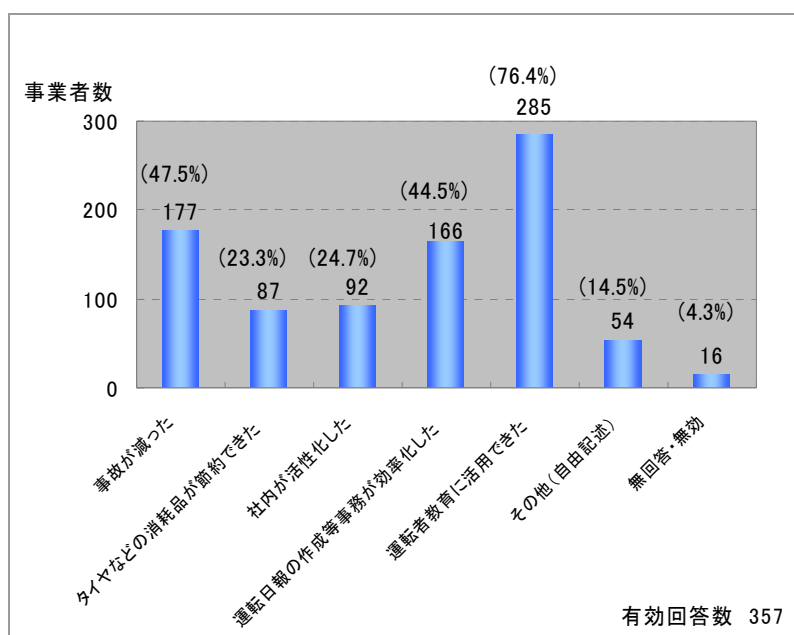


◆燃費改善率

- ・燃費改善率を聞いた結果、「5%以上 10%未満」が 121 事業者と最も多かった。
- ・平均燃費改善率は 7.9%であり、25%以上燃費改善した事業者が 4 事業者あった。



◆その他の効果(複数回答あり)



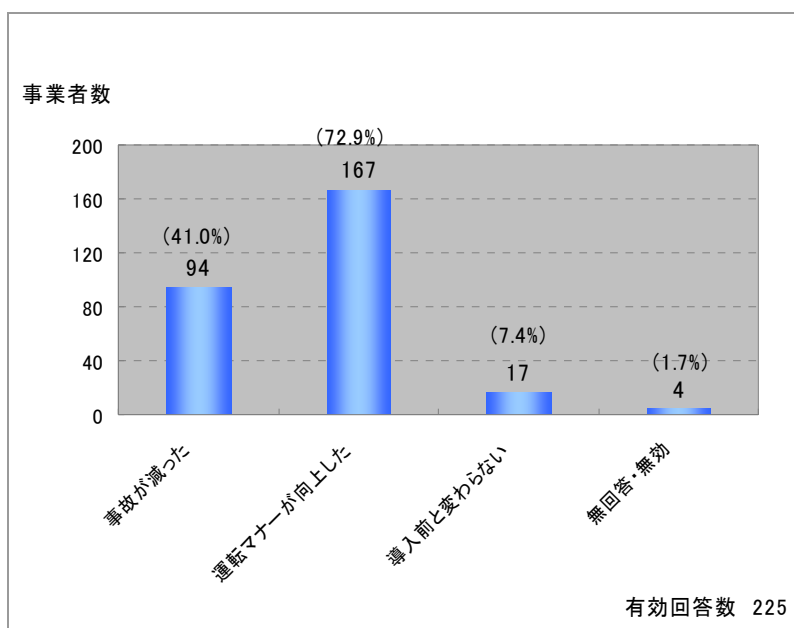
●「その他」(自由記述)

- ・安全運転およびエコ運転に対する意識が向上した
- ・重大事故がなくなった／事故内容が軽微になった
- ・ひき逃げ捜査で運行軌跡により容易に回答する事ができた
- ・荷主からの評価が良くなった／災害など荷主に的確な情報を報告できた
- ・車検、修理代、保険料が減った
- ・速度の管理が十分に出来るようになった
- ・運転者指導がし易くなった

<ドライブレコーダー>

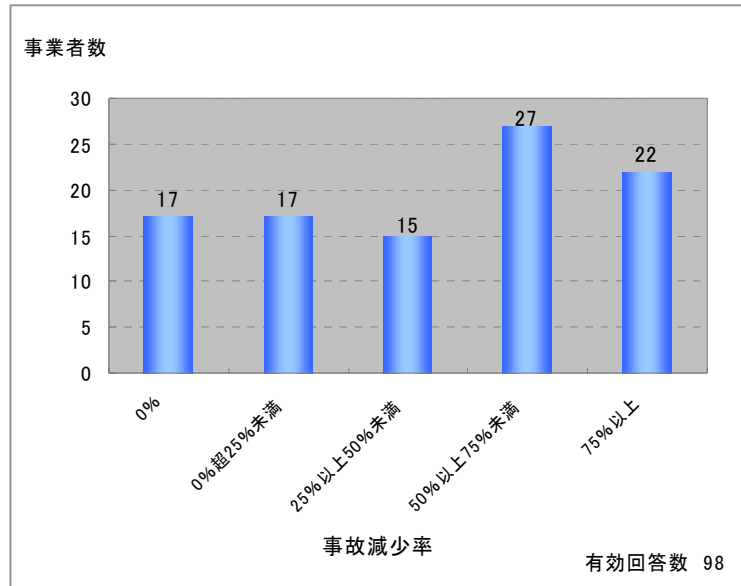
◆事故防止効果(複数回答あり)

- ・「導入前と変わらない」(7.4%)、「無回答・無効」(1.7%)を合わせると9.1%となり、90%を超える事業者が導入効果を感じていることがうかがえる

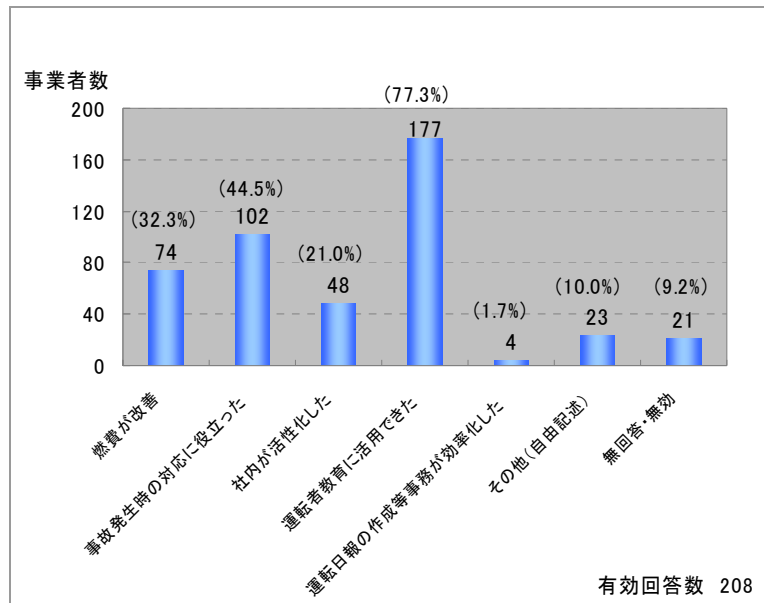


◆事故減少率

・事故減少率を聞いた結果、「50%以上 75%未満」が 27 事業者と最も多く、「75%以上」のうち減少率「100%」が 13 事業者であった。



◆その他の効果(複数回答あり)



●「その他」(自由記述)

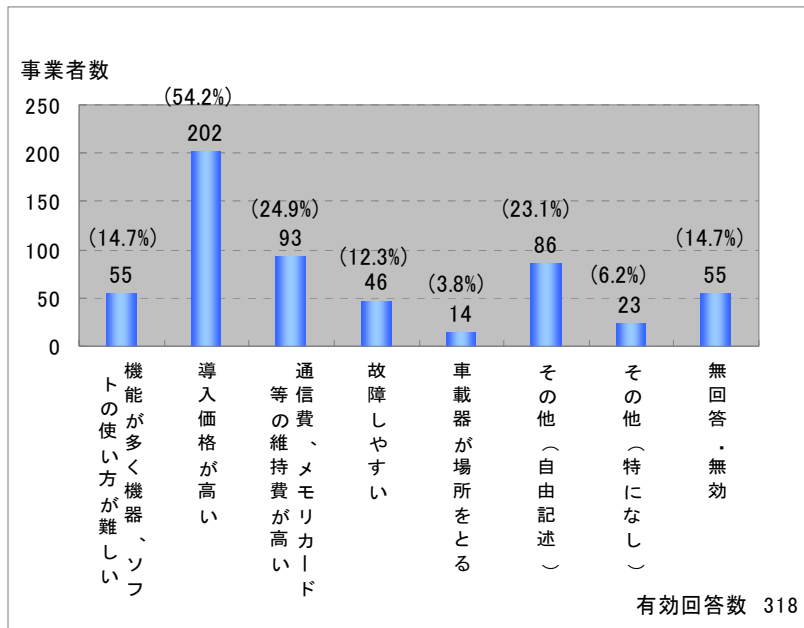
- ・安全運転を意識するようになった
- ・急発進・急ブレーキ・無理な追越も減少し、安全な車間距離で走行できるようになった
- ・事故の現象及び事故の過失割合の早期判明による保険金額の減少により、保険料の割引率が 15%増えた
- ・事故時の有力な証拠となり、ドライバーにとって主張通りの不利のない過失割合となった
- ・危険箇所や危険予知を第三者も確認できて、共通の認識がもてる
- ・車両異常による急ブレーキ時の解析に役立った。スピード、車間距離、運転姿勢が見えるので、指導がし易い

②製品等の問題点について

<EMS 機器>

●「その他」(自由記述)

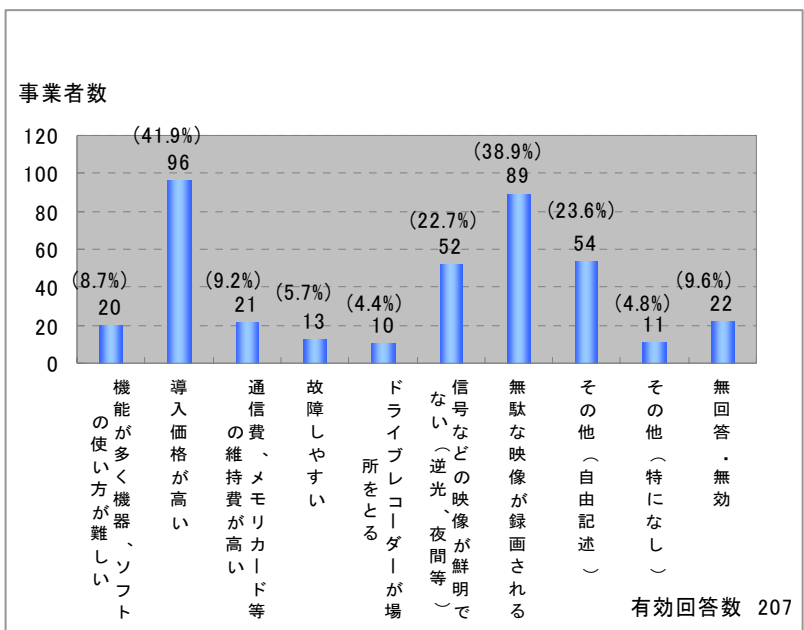
- ・自社に合わせてカスタマイズするとコストがかかる
- ・ソフトの変更、更新費が高い
- ・高速走行中、一般道設定にかわる
- ・走行メーターが車両と機器で誤差が出る
- ・メモリーカードが高い／故障しやすい／熱に弱い／容量不足
- ・メモリーカードの読み込み時に、エラーが発生しやすく、その場合データが残らない
- ・車両代替時に、再取り付け費用がかかる／故障による車両代替時に、出張・修理費がかかる
- ・オプション設定できる機能を増やしてほしい／オプション設定が高い
- ・手動によるボタン操作が多く、乗務員の負担が大きい／ボタン操作を忘れやすい／もっと簡単に



<ドライブレコーダー>

●「その他」(自由記述)

- ・メモリーカードが高い／不具合が起こる／故障しやすい／水に弱い／容量不足／出し入れしにくい／読み込みに時間がかかる
- ・本体とメモリーカードが一体化のため、メモリーカードが破損し、データが入手出来ない
- ・夜間の映像が鮮明でない(室内乗務員、リヤナンバー、雨の日等)
- ・映像録画のG設定が少し難しい／ダウンロードに時間がかかる／DVDへ録画できない／必要な映像がない
- ・導入価格が高い／取り付け費用が高い
- ・フロントガラスに両面テープで固定されているため、両面テープがはがれる／機器取り付け用粘着テープが暑さのため、はがれる



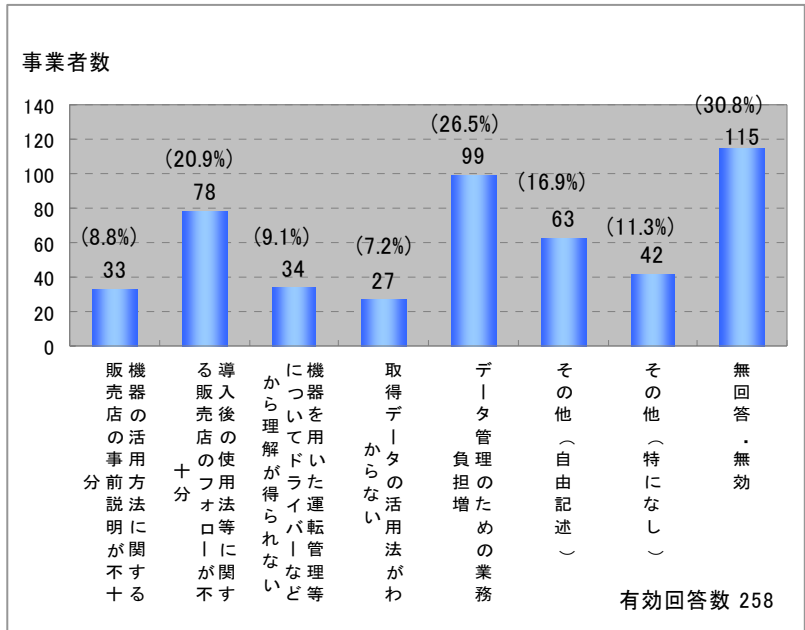
③活用する上での問題点について

<EMS 機器>

●「その他」(自由記述)

- ・1 運行毎の印刷が多く、時間がかかる
- ・ドライブレコーダーと連携できない
- ・他メーカー、ETC、アルコールチェッカーと連動できない
- ・アイドリングが述べ時間でしか集計されない
- ・スリップ、空転等の表示が出ないため、冬場は正確なデータが得られない

- ・事前説明されているが難しく、理解するのに時間がかかる
- ・データ処理時の操作、表示等が複雑で完全に理解するまでに時間がかかる

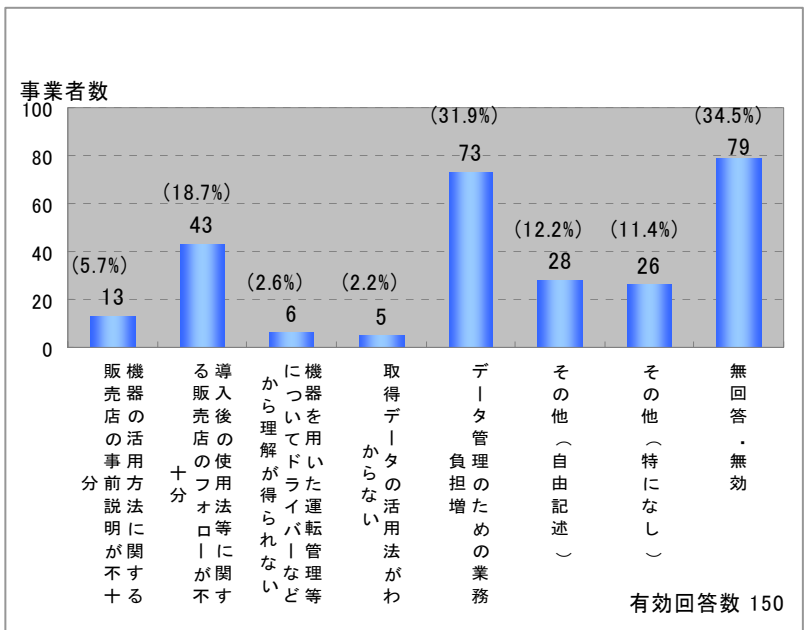


<ドライブレコーダー>

●「その他」(自由記述)

- ・故障時 不具合時に代替品がない
- ・本体とメモリーカードが一体化のため、事故によりフロントガラスが割れた場合、メモリーカードが破損しデータの取得ができない
- ・パソコンの使い方がわからない人にとっては使うのが困難／取り込む際に時間がかかる／取得データの活用の際のパソコン上の操作がわかりづらい

- ・画像チェックする時間がかかりすぎる
- ・地図が表示されないので、位置が確認できない
- ・取付業者の商品知識不足のため、取付け及び操作方法の説明が不十分であった。また、メーカーに問合せでも詳しい人がいなかった
- ・販売店が遠いため、遠隔操作を行い、電話での指導対応のため非常に分かりにくい。担当者が短期間で替わってしまう



④機器に対する要望・期待など

<EMS 機器>

【機能】

- ・防水タイプのメモリーカード
- ・EMS、ドライブレコーダー、アルコールチェッカー、GPS 等が一元化、または、相互接続可能なもの
- ・旧機種と並行利用できるもの、旧機種から新機種へ移行できるもの
- ・どのメーカーの車両でも同じデータが取得でき、どのメーカーの機器でも管理できるソフト
- ・運行時の燃料消費量を同時に計測できる機器
- ・運行支援(音声等でシフトチェンジの指示、設定基準値近くになるとアラームでお知らせ、作業ボタン押し忘れ防止機能等)
- ・アイドリング自動ストップ機能
- ・不具合がなく、操作が簡単なもの
- ・労働時間(運行時間・深夜時間、長時間勤務等)の管理ができるもの
- ・車種別に運転診断の判定基準が変えられるもの

【サービス】

- ・メーカー標準装備にすること
- ・故障した時のアフターサービスが良いこと
- ・機械や機能より、どう生かせば良いかを販売したメーカー等が紹介するような仕組み
- ・エコドライブ分析評価における具体的な改善方法をコメントするような安全運転日報

【コスト】

- ・価格が安いこと(車載器、事務所内機器、ソフト、メモリーカード、通信費、取り付け費用)
- ・助成枠、助成対象の拡大

【今後期待する開発・整備】

- ・全国的にあるいは業態ごとに自社の運行のレベルが確認できるウェブサイトの設立
- ・低コストでバージョンアップできる製品の開発
- ・メモリーカードの品質向上

<ドライブレコーダー>

【機能】

- ・操作がより簡単で使いやすいもの(車別設定等)
- ・取り付けしやすい機器(脱着等)
- ・広範囲を鮮明に撮影できる機器(全車のナンバープレート、信号、ドライバーの顔等)／映像の拡大／不要映像の減少
- ・24時間録画可能で事故時はもちろん、指定した日時ですぐに見られる機器／録画した場所が確認できるもの
- ・危険度の高い運転が記録された場合には、データを取り込む際にその映像が再生されるようなオプション機能
- ・エンジンを切った状態(作業中等)でも、記録できるもの(当て逃げ等)
- ・音声録音できるもの
- ・ドライブレコーダーとデジタルタコグラフの一体化(メーカーが共用できるシステム)

【サービス】

- ・メーカー標準装備にすること
- ・記録された画像データが記憶容量よりオーバーフローした場合、記録状況により書き換えられるか、残すかを決めているとメーカーより説明があったが、どの程度の危険現象がどういう優先順位で残るか問合せを行ってもメーカーから「企業秘密」と言われてはドライバーに説明ができない。

【コスト】

- ・価格が安いこと(車載器、ソフト、メモリーカード、取り付け費用、GPS機能付き機器)
- ・助成枠、助成対象の拡大
- ・保険料の割引

【今後期待する開発・整備】

- ・小型化
- ・取得データをもとに、巡回指導に対応できるような日報作成ソフトの開発
- ・Child輸送用に、温度管理情報も同時に記録できる機器

以上